

特別会計の取り扱いについて

日本測地学会

特別会計の運用について、以下のとおり定める。

1. 新たに特別会計「特別事業準備金」を創設する。
2. 特別会計「特別事業準備金」は、IUGG2003 札幌総会等への国際シンポジウムへの貸し付け、また、日本測地学会による記念事業等に充てる。
3. 現行の特別会計A(20周年記念事業「測地学の概観」にかかわるもの)、特別会計B(IAG 東京学術総会にかかわるもの)、特別会計D(40周年記念事業「現代測地学」にかかわるもの)の資金は、特別会計「特別事業準備金」に統合し、旧区分は廃止する。
4. 上記3の特別会計について、その廃止後に生じる販売収益等は、特別会計「特別事業準備金」に充てる。
5. 特別会計C(「坪井賞授与」にかかわるもの)については、特別会計「坪井賞基金」と名称を変更する。
6. 特別会計の創設、廃止は、評議会の議を経て、総会で決定する。
7. 特別会計について、利息収入を除く収支が、2会計年度を通じて停止した場合、会計委員長は、その特別会計を特別会計「特別事業準備金」へ統合するように、会長に建議する。

(平成12年 6月27日日本測地学会総会にて制定)